



2013年5月16日
在日米国商工会議所

ACCJ、米国商務省の2012年「ピース・スルー・コマーンス（交易を通じた平和への貢献）」メダルを受賞

在日米国商工会議所(ACCJ)は本日、米国商務省の2012年「ピース・スルー・コマーンス（交易を通じた平和への貢献）」メダルを受賞しました。メダルはジョン・V・ルース駐日米国大使とフランシスコ・J・サンチェス米国国際貿易担当商務次官によって授与され、式典には多数のACCJ会員と報道関係者が出席しました。また、授与式に続いてサンチェス商務次官による基調演説が行われました。

「ピース・スルー・コマーンス」メダルは、1790年に当時米国の初代国務長官を務めていたトーマス・ジェファソンによって創設されました。その223年の歴史のなかで、これまで20に満たない個人または組織にしか授与されていません。国際貿易と国家間の関係強化を通じ、平和と交易の推進に貢献する活動をたたえるもので、米国商務省が授与する最高位の賞です。

受賞の対象となった2012年にACCJの会頭を務めたマイケル・アルファントACCJ会長は、次のように述べました。「ACCJを代表してメダルを受け取ることができ、非常に光栄に思います。このたびの受賞は、日米間の関係強化と“交易を通じた平和への貢献”の推進に向けて、日々取り組んでいるACCJ会員の功績が認められたことを意味します。ACCJにとって記念すべき出来事であり、会員はその活動を誇りに思うべきだと思います」

また、ローレンス・ベイツ現ACCJ会頭は次のように述べました。「このメダルはまさに、日米の交易関係のさらなる発展に向けたACCJ会員の懸命な努力の証と言えます。しかし、米国商務省や米国政府全体を通じた関係者の多大なお力添えをなくして、これほどの活動を展開することはできなかったでしょう。そのような素晴らしい友人からこのような栄誉を与えられるということは、受賞の意味をより一層特別なものにしています」

以上

###

1308 J

—在日米国商工会議所について—

在日米国商工会議所（ACCJ）は、米国企業40社により1948年に設立された日本で最大の外資系経済団体です。米国企業の日本における経営者を中心に、現在は約1000社を代表する会員で構成され、東京、名古屋、大阪に事務所を置いています。日米両国政府や経済団体等との協力関係の下、「日米の経済関係の更なる進展、米国企業および会員活動の支援、そして、日本における国際的なビジネス環境の強化」というミッションの実現に向けた活動を展開しています。また、60以上の業界・分野別委員会を中心に活動を行い、意見書やパブリック・コメント、白書等を通じた政策提言や、政策や経済の動向等について年間500以上のイベントやセミナーを開催するとともに、各種チャリティー等の企業の社会的責任（CSR）活動にも積極的に取り組んでいます。

【お問い合わせ】

同件に関するお問い合わせは、在日米国商工会議所 渉外室（電話：03-3433-6542；メール：external@accj.or.jp）までお願いいたします。

The American Chamber of Commerce in Japan
Masonic 39 MT Bldg. 10F, 2-4-5 Azabudai, Minato-ku, Tokyo 106-0041
在日米国商工会議所 〒106-0041 東京都港区麻布台2-4-5 メソニック39MTビル10階
Tel: 03-3433-5381 Fax: 03-3433-8454 Web: www.accj.or.jp